

(様式4)

令和4年度「静岡県オリパラレガシー教育推進事業」

事業実施報告書

学校名 沼津市立第四小学校

担当者名 加納 真

<コース>

A クラブチーム選手及びスタッフ指導者派遣

B オリンピアン・パラリンピアン等講演会及び交流会

1 選択コース	A ・ (B)
2 実施日	令和4年10月25日
3 実施対象者 (学年・人数 等)	6年児童・78名 (うち1名はオンライン参加)
4 取組内容	車椅子ラグビー若山英史氏 6年総合的な学習「夢に向かって」 講演 「感謝の気持ちを伝えよう」(45分) 体験 車いすラグビー (45分) ・タックル体験 (79名) (約30分) 競技車に乗り、子供たち同士でタックルを体験 ・車いすラグビーミニゲーム (約10分) 代表児童8名で試合形式のミニゲームを実施
5 取組成果 課題 反省等	子供たちは、講演での若山選手の経験に基づくメッセージ(楽しむことを見つけることや一歩踏み出す勇気を持つこと、感謝の気持ちを表現すること)を受け止め、自らの生き方を考える貴重な機会を得ることができた。「夢に向かって」をテーマに取り組んでいる6年生にとって非常に魅力のある時間となった。 車いすラグビーの体験では、どの子も意欲をもって学習に取り組むことができ、競技を経験することを通して、パラスポーツへの理解を深めることができた。車いすの数や時間の制約などにより、ミニゲームに参加できる子が少なかったことが少し残念ではあったが、プログラムとしては、大変充実した内容であり、子供たちの満足度も非常に高かった。
7 県教委への 要望や意見	本事業は、子供たちにとって魅力的なものであり、来年度以降もぜひ継続していただきたい。
8 事後アンケート	以下の問いについて該当するものに○ (1) 児童生徒のスポーツへの興味・関心が高まったと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない (2) 児童生徒の体力が高まったと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない (3) 来年度もこの事業を活用したいと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない